

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	福利厚生事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	総務部	課等名	人事課		包含する細々目	1	2	1	10	10	1	270	
政策	9 市民と共に進める行政経営												
施策	93 良質な行政サービスの提供												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議									
		事業期間		年度～		年度							
					関連計画								
					条例等								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	職員又はその家族	内規に該当する職員又はその家族	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	50
			51	50		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	職員の甲事・災害に対し、事業主として甲慰金、見舞金等を支出し、職員に甲意等を示す。	甲意等を示されて、士気を堅持する職員の数	18目標	51	最終目標	
			18実績	51	19目標	50
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
			23目標		23実績	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	香典、見舞金の支出 <参考>細々目名:人事一般管理費	「職員の慶弔金及び災害見舞金に関する内規」に基づき、職員又はその家族に対し、甲慰金及び災害見舞金を交付する。なお、結婚祝金については18年度より支出を見合わせている。	香典、見舞金を受給した職員(人)	51
	18年度の実績			
	19年度計画	「職員の甲慰金及び災害見舞金に関する内規」に基づき、職員又はその家族に対し、甲慰金及び災害見舞金を交付する。(内規改正により、結婚祝金については対象外)	香典、見舞金を受給した職員(人)	50

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	303	270
事業費計(A)		303	270
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	303	270

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムツ指標)と単位	上位成果指標の数値			
	サービスの的確に提供されること	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(窓口サービス)	現状値	61.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 昭和42年内規制定のため	事業を取り巻く状況の変化 結婚祝金については、18年度より支給を凍結し、19年4月内規改正(結婚祝金を削除)	事業に対する市民や議会の意見 特になし
-------------------------------	---	------------------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	事業主の申意等が伝わり、職員の士気向上に繋がる。ひいてはサービスが的確に提供されることになる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 余地がない (その理由)	現状の支給(最低限のもの)以外には必要なし
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)	弔慰金及び見舞金の支給については、意図の達成のためには必要である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)	
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)			他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)	
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)	事業主であるため		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)	
			公平性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)	職員。事業主として最低限の申意等を表すことは必要。
				受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	